理事会議事録
日　時　2024 年 1 月 10 日
場　所　渋谷区スポーツセンター第1・2会議室
注　記　議長:松村、書記:成田
出席者(敬称略):
松本(会長)、近藤(小平)、松村(世田谷)、池澤(町田)、小野寺(千代田)、小杉(江戸川)、堀(千代田)、石渡(中央)、東(港)、折原(文京)、小林(台東)、沼崎(墨田)、加藤(江東)、小沼(葛飾)、浅見(八王子)、澤口(青梅)、竹村(小金井)、祝迫(小平)、福士(東久留米)、斉藤(西東京)、有本(目黒)、坂本(世田谷)、飯泉(渋谷)、赤松(町田)、山崎(多摩)、近藤(新宿)、川村(杉並)、小野寺(豊島)、山本(北)、小林(板橋)、川上(練馬)、福島(葛飾)、富樫(高体連)、中村(関東学連)、黒田(関東学連)、成田(葛飾)

●黙祷(能登半島地震)

●会長挨拶

●国体優秀選手賞の授与式
強化部長より表彰の紹介(選手体調不良のため)
成年男子 7 位、少年女子 8 位

都体協が天皇杯、皇后杯の受賞を記念して、活躍した選手に、
国体優秀選手賞(成年男子、少年女子の個人)を授与した。

●報告事項
【理事長】
1.　小金井公園弓道場の運営管理問題の聞き取り(12/8　花小金井)
　小金井ア協(藤原・竹村)、都ア協(近藤・松村)
　→内容を取り纏めた。
　　都ア協として、所管部局とも聞き取りを行い、方向性を出していく予定
　　(1 月 30 日予定)。

2.　学連インドア大会後の畳放出について
　37 枚・・・武蔵大学(12/25 受取)
　8 枚・・・横浜市立大学(1/15 受取)
　15 枚・・・墨田(12/24 引取り)

3.　12月までの競技会収支　　資料①
東京都室内参加者が 325 名と少なく、赤字となっている。
町田インドアも参加者が少ない状況。今後インドアの実施方法等を検討していく必要がある。

【事務局】 特になし

【競技部会】

1.　東京都都室内アーチェリー選手権大会開催(12/16, 17　奥戸)

・325名の参加者を集め、無事に終了いたしました。

・各ブロックから審判員出役にご協力いただきありがとうございました。
理事の出役の条件について、ブロック出役者との齟齬があり、不快な思いをさせて
申し訳ありませんでした。

2.　来年度競技予定案 4 月分

・年間予定表は、協議事項にありますが、小金井の4月分予約については、理事長・
競技部会長で専決し、予約をお願いしました。

3.　都体協主催「令和5年度体育大会委員会」出席(12/13)

・都外在住者(都外在住者:出場する区市の在勤、かつその区市ア協会に登録している者)が
都民大会に出場できるようになることがメインの話題でした。
→アーチェリーは1チーム1人に限定としてます。

都在住者:登録している区市ア協から参加可能
(登録している区市ア協以外の住所でも都民であれば参加可能)

4.　町田インドア大会(1/13　町田)のエントリー状況

・エントリーが少なかったため、締切を 1/5までに延長しました。
185 人のエントリーがありました
(例年に比べ 100 名程度少ない状況)　3 部は 1 立で実施予定(1 部、2 部は 2 立)。

5.　2025 東京インドアオープンの会場予約(2025/2/1, 2)　資料②

設営のための前日の予約はとっていない(設営は 2/1 午前に実施する)。

【普及育成部会】

1.　令和 5 年度トップアスリート発掘・育成事業　担当者連絡会出席
12 月 12 日、TKP　新宿西口カンファレンスセンター

・来期トップアスリート 15 期生競技体験会の報告

・次年度のプログラムについて説明を受ける

2.　ブロック別指導者講習会　徳島県(1 月 20・21 日)

・強化部会長　齊藤様に出席依頼

【強化部会】

1.　TEAM 東京　国体強化事業

・12 月 3 日、10 日、24 日　強化夢の島冬季大会・感謝射会実施

※1 月の予定

・1月 10 日　国体優秀選手賞　授与式を1月理事会冒頭にて実施
(選手体調不良のため、紹介のみ実施)
→対象:成年男子、少年女子

2.　14期生トップアスリート発掘・育成事業
・12 月 3 日(日) 第 19 回練習会 (日本体育大学)
・12 月 19 日(日) 第 20 回練習会　2023 年度東京都室内選手権大会出場
→14 期生の最終事業となります

※1 月の予定
・任意の練習会を予定

【審判部会】
1.　新規3級公認審判員の公認
JSPO コーチ 1 養成講習会における新規3級公認審判員申請 11 名中 7 名が公認確定。
・4 名の方は会員登録1年未満のため認定保留。
・7名の方には認定証、エンブレムを個人あてに郵送(12/11 付)済み。

2.　2023 新規 1 級公認審判員認定講習会(2/10　兵庫にて)
認定講習会要項を事務局より 12/17 に配信していただきました。
→12/22 時点での申込者1名(墨田区)ありました。

3.　大会報告書を Google ドライブに保管する件
競技部会と打ち合わせし審判部会副部会長の有本さんにアップしていただきます。
→この Google ドライブの確認が出来る方の範囲は、協議事項で検討いただきたいと思います。

【総務部会】
1.　GMO あおぞらネット銀行の複数口座開設(福島)
→利用方法は後日連絡いたします。
①　親口座(会計　開設済)・・　成田
②　子口座(登録)・・・・・・・・・　福島
③　子口座(スターバッジ)・・　松村
④　子口座(強化)・・・・・・・・・　川上(齊藤)
⑤　子口座(普及育成)・・・・・　堀(加藤)
⑥　子口座(競技:全日大会)・　池澤(西村)
⑦　子口座(競技:大会1)・・・　池澤(西村)
⑧　子口座(競技:大会2)・・・　池澤(西村)
⑨　子口座(審判)・・・・・・・・・　澤口(有本)
トップアスリート用(強化・普及)に口座を追加開設する。

【都高体連】
特になし

【関東学連】
1.　一級審判派遣のお礼
・学連インドア(12/23,24)

●協議事項

【副会長】

1.　今後の公認協議会運営について　資料③

　①　公認競技会のあり方について(2023.11.1)　議事録　資料④

　②　公認競技会のあり方について(2023.12.6)　議事録　資料⑤

副会長より公認協議会のあり方について協議されている内容を議事録にそって説明がなされ、
現在検討されている内容と方針について異議ない事を確認した。

【理事長】

1.　今年度インドア後期大会後の畳放出について

　②　2/4 東京インドアオープン後

　　・都ア協分　60 枚

　　→希望団体の確認　墨田、江東、千代田(15 枚希望)

【事務局】

特になし

【競技部会】

1.　来年度競技予定案　資料⑥

全ア連・全日学ア連・関東学連・高体連の予定を勘案し、都ア協の予定案を立案しました。

・50/30, 30W などの初心者や低ポンド向けの試合を増やしました。

・インドア大会では、①初心者部門の設立、②定員割れした場合のダブルエントリーを企画

・競技予定表は、未定の部分が多いので公表はしない事を確認した。

（4 月 7 日フィールドと 4/14 小金井のみ決定）

・各ブロック、事業担当者はスケジュールを確認して誤り等がある場合、競技部会長に報告の事。

・予定案のスケジュール作成方針については了承された。

・光が丘、小金井でも 50/30 を実施するよう調整する。

インドア大会

・初心者部門の設立することを承認した。

・定員割れ：2 次募集以降でのダブルエントリーを認めることを承認した。

・レジェンドの名称：　変更を予定しているので良い名前があれば連絡ください。

→大枠での承認であり、詳細については、要項作成に間に合うように継続して検討する。

2.　東京インドアオープン理事出役の件

競技委員長、DOS、副DOS、審判長(松村さん)、副審判長、総務委員長、記録長の決定

前日準備

1日目の宿泊希望者

定員いっぱい宿泊するのは無理なので、差額の補てんをします。

また、残室は都内外の方に宿泊紹介をします

・出席した理事の東京インドアオープン理事出役および宿泊希望を確認した。
・選手への宿泊紹介を行う。
・BumB は食事の持ち込みは不可。持参者は館外での飲食となる。
・宿泊・弁当は自己負担

3.　関東学連への役員動員依頼（町田インドア、東京インドアオープン）　資料⑦
役員動員について了承された。

【普及育成部会】
1.　2024 年度小中学生大会
・50・30m、30m、18m の大会(今まで通り)に加え、
60m ラウンド 予選～決勝ラウンドの大会を新設し実施したい
実施の方向で進めることが承認された。
名称については変更を検討し、全国から参加しやすいように公示等も行う。

【強化部会】
特になし

【審判部会】
1. 大会報告書を Google ドライブに保管する件
（ア）大会報告書の Google ドライブへのアップ担当について
→審判部会副部会長の担当としたい。但し、審判部会内での協議で変更も可。

（イ）大会報告書の閲覧者の範囲
・常任理事と審判部会理事に限定したい

→現状個人のアドレスは閲覧権限のみで管理していくアカウントや権限の
与え方などしっかりと打ち合わせてから始めさせていただきたい。

・大会報告書の申し送り事項に記載のある選手について
→審判部で、過去1年内の報告書から取り纏めをする。
その上で、大会の競技委員長・DOS・審判長の任に当たる方と共有し、
参加選手の確認用資料として活用したい。

上記の運用で進めていくことで承認された。

2. 新規3級・2級公認審判員養成講習会の開催（3/20 BumB にて）　資料⑧
お知らせ（案）のご確認お願いします。1月末日頃を配信予定としたい。

資料⑧（新規3級公認審判員養成講習会開催のお知らせ(案)）修正
・時間 9:30 から 13:00（受付 9 時）
・都ア協指定赤ジャンパー　3,500 円

・資料の写真は差し替え予定
・問い合わせアドレスを変更する

資料⑨（新規2級公認審判員養成講習会開催のお知らせ(案)）修正
・時間9:30 から 16:00 （受付 9 時）
・問い合わせアドレスを変更する

お知らせ案を修正し配信することが承認された。案を修正後すぐに案内を行う。
関東学連より学連内で共有するため 1 月27日にちまで案内が必用の要望があった。

【総務部会】
特になし

【事務局】
特になし

【都高体連】
特になし

【関東学連】
1．　夢の島練習会・フォローアップ講習会における指導員派遣依頼　資料⑩
　　・派遣人数は別途相談：　3/14(木),15(金),16(土)の内いずれか　資料⑪
　　16 日（土）　齊藤さん、小野寺さん参加

2．　春季大会における 1 級審判派遣のお願い(3/17)　資料⑫
　　派遣について承認された。後日派遣者名を連絡することとした。　資料⑬

資料③

今後の公認協議会運営について（協議）

東京都アーチェリー協会

１　協議の内容

公認協議会のあり方審議会（小野寺長久委員長）からの答申内容に則し、今後の公認協議会の運営方法等に関して協議し、その内容を 2024 年度総会において報告するものとする。

２　協議期間

2023 年 11 月～2024 年３月

３　協議方法

11/1～3/6 に開催の常務理事会（計４回）において詳細を審議し、2024 年１月、５月度の理事会において報告、決議の上、2024 年度総会に臨むものとする。

４　今後の審議予定

(1) 11/1（水）

①ブロック制の維持

②公認協議会会場の選定

・ターゲット、フィールド、インドア会場　＊駒沢第一問題

③直轄での公認競技会の運営方法

④都ア協理事の関与について　ほか

(2) 12/6（水）

①イアンセオの担当部会について（記録の整理）

②各ブロックにおけるラインジャッジの確保

③競技会役員の育成

④個人エントリーへの移行　ほか

(3) 2/7（水）

①必要審判・役員数の確認

②夢の島射場のあり方（直轄、ブロック制の比率等）

③競技会参加費と役員の報酬等の改定等

(4) 3/6（水）

審議内容の見直しとまとめ

※ 総会報告案文の調製

以上

◆公認競技会のあり方について(11/1 時点)

資料④

1　公認競技会場の選定について

2024 年度以降の公認競技会の実施可能な競技場に関しては、(別記)一覧のとおりである。このうち、アウトドア競技会会場地の「都立駒沢オリンピック公園第一球技場」に関しては、専用のアーチェリー場でないために畳を持ち込まなければならない点、その畳の保管にも大きな財政的な負担があることなどを考えると、それ以外の射場に比して魅力が薄れてきていた。

そこに、夢の島公園のアーチェリー場がオリンピックレガシーとして恒久化が決定し、様々な条件整備が未だ必要であることを考慮しても、今後も駒沢第一球技場での競技会運営の継続に関しては、財政的に厳しいものと結論付けざるを得ない。

東京都アーチェリー協会(以下、「都ア協」という。)の発足以来、60 年以上に亘って使用し、数々のオリンピックアーチャーを生み育てた伝統の競技会場ではあるが、その役割は夢の島アーチェリー場に引き継ぐことが適当なのではないかと考えている。この点は、永年同競技会場の備品類を共有してきた関東学生アーチェリー連盟、東京都高体連アーチェリー専門部とも十分協議し、歩調を併せることとし、2023 年秋の高体連の競技会を最後に撤退することに決した。

次に、インドア競技会の実施可能な体育館等に関しては、過去にも様々な体育館や見本市会場などを転々としてきたが、現在は別記の５会場を候補会場として、その都度の抽選状況などにより選考していきたい。今後も、新たな候補地の選定が臨まれるところである。

最後にフィールド競技会については、私設の競技場での開催であり、都ア協としても都内で唯一の射場を今後とも末永く継続使用できることを祈るばかりである。

2　ブロック制の維持と直轄競技会に関して

都ア協のアウトドア公認競技会(主に 70・50mラウンド)の運営は、これまでも協会直轄の試合と東西南北のブロックが主管する試合に２分化されてきた。昨年度末の公認競技会のあり方審議会(以下、「あり方審議会」という。)の答申によれば、「従来どおりブロック制を継続し運用していく。」との結論であり、審議会の議論の中では、競技会場毎にブロックを固定化することが適当である点も確認された。

これを受け具体的には、小金井・光が丘の都立公園弓道場についてはそれぞれを西と北が、都立夢の島公園アーチェリー場については 2024 年度からは東と南が個別に受け持つよう割り振ることが適当と考えている。また、ブロック主管の競技会の数がほぼ均等になるように競技会日程を調整することが妥当と考える。

その上で、競技会の運営方法や安全を守るための条件などは、東京都アーチェリー協会競技運営安全管理規程(平成 22 年４月 12 日)を基準とし、可能な限り平準化できるよう、競技部会の分掌として、常に見直しを行っていきたい。

ただし、競技会場の位置づけと規模(常設射場と広場共用、的数等)、付帯設備の差異(安全対策の充実度、設営の容易さ等)によって、全く同条件での運営は難しいところではあるが、各射場の維持管理状況や必要備品類の有無についてはブロック任せにせず、競技部会を中心にして定期的に理事会においても把握できるような方策を講ずることが必要と考える。

方や今後のアウトドア競技会においても、都ア協直轄にての開催が必要な場合、或いはインドア大会においては一部の協会主管試合(青梅、江戸川等)を除いては、当初より協会直轄での主催試合としてきている。また、フィールド競技会は、過去においてはブロック主管で実施していたものの、会場が一か所に絞られた現状にあっては、協会直轄での運営が妥当と考えたい。

この項のまとめとしては、2024 年度以降も都ア協の公認競技会の試合数と主管方式は、従来を引き継ぐものするが、ブロック間での出役数の不均衡をできる限り防ぐためにも、競技会の年間開催数から必要な役員・審判員数を概算し、可能な範囲で均等に割り振るよう理事会等において確認していきたい。そして、公認競技会の円滑な運営には、直轄であれ、ブロック主管であれ、全会員諸氏の積極的な出役が臨まれるところである。

３　公認競技会の運営について

⑴ ブロック主管競技会

ブロック主管の競技会と言えども主催は都ア協のため、大会要項は競技部会において立案し、大会の目的と種別・種目等を会員に示し、主管のブロックを指名する。指名を受けたブロックは、エントリーの受付から、競技会役員の動員、当日の大会運営の全てを執り行い、大会結果や事務報告を関係部会等に報告することになる。

今後もアウトドア競技会の多くはブロック主管での実施を原則とするため、競技役員の動員方法等は各ブロックに委ねられることになる。ただし、全日本アーチェリー連盟（以下、「全ア連」という。）の競技規則に示される資格が必要な競技役員の補充が間に合わない場合には、他のブロックに依頼をかけるとともに、審判部会への報告が必要となる。

⑵ 直轄競技会

直轄競技会とは、主管する部会を指名し、担当部会において大会要項を立案し、大会の目的と種別・種目等を会員に示す競技会をいう。エントリーの受付は担当部会が行い、当日の大会運営は担当部会が発する動員に応じた競技会役員で執り行い、大会結果や事務報告は担当部会の責任となる。ブロック主管と異なる点は、競技会役員の動員方法で、大会の規模や開催日数に応じて必要役員数を計算し、ラインジャッジを除く競技会役員は、概ね協会理事や部会の専門委員から募ることとなるが、全てのラインジャッジと記録員の一部に関しては、各ブロックに均等に割り振ることを原則としたい。

直轄競技会の競技会役員の全てを会員への公募と担当部会の指名でのみ行おうとすると、出役者に偏りが生じた過去のデータからも各区市に依頼することの妥当性が理解できるものと思料する。また、ラインジャッジ専従であれば、３級審判員取得後の会員や近年審判業務から縁遠くなっていた会員の活躍の場としても最適と言える。また、審判資格のない協会理事にも総務・記録業務などを受け持つ場を提供することも可能と考え、多くの会員に公認競技会を支える側の意識を醸成したい。

４　都ア協理事の競技会への関与について

都ア協主催の公認競技会である限り、例えブロック主管の競技会であったとしても、当協会の役員が不在のままでの開催は想定外である。あり方審議会の答申においても、「競技会には主催責任者として都ア協理事の出席は不可欠。理事の輪番制を行うべき。」との結論が示されている。

一方で、都ア協理事の中には全ア連の公認審判員資格や JSPO のコーチ資格の未登録者もいるため、競技会役員としての活躍の場が限られることが課題となってくる。勿論、新たに資格を取得することも重要ではあるが、まずは総務担当などの資格要件の不要な役職への配置などを考慮することが求められる。そして、何よりも理事として公認競技会に関わる意識が高まるような啓発活動と、出役しやすい条件整備も考えなければならない。

５　公認競技会の位置づけについて

全ての全ア連公認競技会の主催は申請団体の基で組織的に行われるべきであり、都ア協においては、協会の公式行事として事業計画に則り行われてきた。しかし、直轄競技会役員の動員に対しては、ややもすると呼びかけた部会の担当業務として捉えられる向きが感じられ、会員全体で担わなければならない業務という意識が薄れる傾向にある。

このため、改めての意識づけの意味で、大会要項は会長が、競技会役員等の出役依頼（動員）については理事長名で行うこととしたい。勿論、発信者名が規定されようとも、出役依頼に強制力が備わるものではなく、過去もこれからも会員諸氏の自主性を重んじ、当日の競技者のための会員相互のボランタリーな立場での役割であることに変わりはない。

今後とも現状の競技会運営を維持するためには、競技者と運営者双方がリスペクトするとともに、相互協力の関係を築くことが必要であろう。そのためにも、会員間の役割分業の意識を廃し、公認競技会への一人でも多くの出役をお願いするところである。

（別記）

公認競技会が実施可能な会場(2023 年度末現在)

（アウトドア会場）
１　都立駒沢オリンピック公園第一球技場
２　都立小金井公園弓道場
３　都立光が丘公園弓道場
４　都立夢の島公園アーチェリー場

（インドア会場）
５　都立駒沢オリンピック公園体育館
６　都立駒沢オリンピック公園室内球技場
７　町田市立総合体育館
８　葛飾区立奥戸総合スポーツセンター体育館
９　BumB 東京スポーツ文化館メインアリーナ

（フィールド会場）
10　花のやまフィールドアーチェリー場

資料⑤

◆公認競技会のあり方について（12/6 時点）

６　イアンセオの担当部会について（記録の整理）

当協会でのイアンセオの導入から２年が経過し、既に公認大会においては、得点記録の集計と記録の整理においては不可欠な機材となっている。導入当初は機器の選定等々の関係から協会内の有志により進められてきた面もあるが、イアンセオの導入目的である得点記録集計の迅速化と記録の整理を事務分掌として、担当部会を決定する必要がある。

東京都アーチェリー協会事業部会に関する規則、においては、第２条第５号に競技部会の分掌事務として「公認競技会の運営、記録の整理」が明記されており、記録集計や整理等の業務はこの項と合致するため、今後はイアンセオの担当部会と決することとした。

なお、機材の保守や操作・運用面等の課題を含め、競技部会内にプロジェクトチームを立ち上げ、ブロック担当者や直轄競技会の担当者との連携を密にして、競技会開催に支障を来すことの無いよう、配慮が必要となる。

資料⑦

2023 年 12 月 26 日

関東学生アーチェリー連盟
連盟委員長　中村 未彩季　様

東京都アーチェリー協会
理事長　松村 [illegible]志

役員派遣願い

平素より東京都アーチェリー協会の事業にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、弊協会開催の大会におきまして、弊協会だけでは役員を集めきれず、貴連盟より役員を派遣して頂きたくお願い申し上げます

当該大会、業務の内容は下記の通りです。謝金は弊協会の規程に基づいてお支払いさせて頂きます。

記

大 会 名：　２０２３年度東京都町田インドア大会
場　　所：　町田市立総合体育館
依頼事項①：　設営役員 5 名
　　2024 年 1 月 12 日（金）　18:00～21:00
依頼事項②：　イアンセオ役員 2 名
　　2024 年 1 月 13 日（土）　8:30～19:00

大 会 名：　東京インドアオープン 2024
場　　所：　BumB 東京スポーツ文化館 メインアリーナ
依頼事項①：　設営役員 10 名
　　2024 年 2 月 2 日(金)　18:00～21:00
依頼事項②：　イアンセオ役員 2 名
　　2024 年 2 月 3 日(土)　8:40～19:00
　　2024 年 2 月 4 日(日)　8:40～18:00

以上

資料⑪

2024 年 1 月 2 日

東京都アーチェリー協会
理事長　松村晃志様

関東学生アーチェリー連盟
連盟副委員長　黒田零音

2024 年度夢の島練習会フォローアップ講習会における

指導員の派遣のお願い

平素は関東学生アーチェリー連盟の活動に関して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連盟では、2024 年度夢の島練習会の開催を 2024 年 3 月 14 日（木）15 日（金）16 日（土）に予定しております。一昨年より行っている本事業ですが、過去二回、東京都アーチェリー協会様より指導員を派遣していただきフォローアップ講習会を開催していただいており、本年も派遣していただきたく存じます。

貴協会には大変なご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

事業名	2024 年度夢の島練習会フォローアップ講習会
日程	2024 年 3 月 14 日（木）15 日（金）16 日（土）いずれか
場所	夢の島公園アーチェリー場
依頼事項	指導員の派遣

以上

資料⑬:訂正版

2024 年 1 月 10 日

東京都アーチェリー協会
理事長　松村　晃志　様

関東学生アーチェリー連盟
連盟委員長　　中村　未彩季
（公印省略）

春季大会における一級審判員派遣のお願い

平素は関東学生アーチェリー連盟の活動に関して格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連盟では 2024 年度より、春季大会として 70mR の公認試合を行う運びとなりました。

しかしながら当連盟には一級審判員がおりません。そのため毎回のお願いで申し訳ございませんが、本事業の開催のため東京都アーチェリー協会様より一級審判員の方を 1 名派遣していただきたく存じます。

貴協会には大変なご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお取り計らいございますようお願い申し上げます。

記

事業名　：2024 年度関東学生アーチェリー春季大会
日程　　：2024 年 3 月 17 日(日)
場所　　：夢の島アーチェリー場
依頼事項：一級審判員 1 名の派遣

以上